

# 福祉にいがた

Fukushi Niigata

## CONTENTS

### 巻頭特集

「こころ 紡いで」

がんカフェー 患者ら不安語り合う（2・3面）

- 福祉の現場、ホームレス支援原点に活動
- 県福祉人材センター、Webで情報発信
- ユニゾンで抗ウイルス施工、安心安全に

6月号  
2022  
第838号

絵  
「ゴールデンタイム」  
作家・佐藤葉月（妙高市）



<作者一言> 私のゴールデンタイムは AM2:00 からです。



バックナンバー  
こちらから



社会福祉  
法人

新潟県社会福祉協議会

<https://www.fukushiniigata.or.jp/>

# こころを紡いで

日本人の死因1位で、2人に1人が発症するとされる「がん」。かつては死の病と恐れられましたが、医学の進歩により、部位などによっては完治も夢でなくなりつつあります。それでも医師から「がん」告知された当事者が受ける衝撃や心配、苦悩はいかばかりでしょうか。そうした当事者や家族らが不安などを語り合う場にと、新潟市内で開催している「がんカフェ」(ボランティアグループ「はなのね」主催)を訪れました。

4月23日(第4土曜)の午後。新潟市西区山田の建築資材会社シヨールームは休業日にもかかわらず、にぎわっていました。

## がんカフェ

## 月1回、新潟市西区で開催



ボランティアグループ「はなのね」が主催、がん患者や体験者が語り合う「がんカフェ」

がん闘病者や家族が不安などを語り合う、月1回の「がんカフェ」です。主催する「はなのね」共同代表・城野理恵、遠藤ゆき子両氏は新型コロナウイルス感染禍で2年間、オンラインで

開いてきましたが、3月から対面式に戻しました。約20人が4つのテーブルに分かれて着席。20人のうち、10人あまりはオレンジ色のTシャツを着た「はなのね」メンバーです。闘病

経験者のほか、医師や看護師などの医療関係者もいます。私服の10人近くが闘病中などの参加者です。開始から10分あまり。各テーブルの会話は次第に雑談から病気の話題へ。

な声に耳を傾けます。◇◇◇  
「はなのね」は発足翌月の2018(平成30)年9月、初の「がんカフェ」を新潟市内で開催しました。告知された患者は不安な

# 患者ら不安語り合う 体験者や医師看護師ら同席

(以下「」内の太字は、

各テーブルから聞こえた会話を、プライバシー保護のため一部修正しました)

「なぜ自分が発症したのか、理由を知りたい」

「告知されてから『はなのね』『どうして』ばかり」

がん発症メカニズムを医学で説明できたとしても、その人の発症理由や原因と

### 巻頭特集

なること難しく、い問い掛けです。それでもメンバーは様々

いそうです。

「病気について患者や家族が気軽に話せる場が欲しい」。そんな思いを抱いた闘病経験者や医師、看護師ら女性5人が「はなのね」を発足させました。

5人のコアメンバーのほか、20人近いサポートメンバーが運営を支えます。

サポートメンバーにも闘病経験者がいます。同じ経験をしたピアサポーター(ピアは英語で仲間)として語り合います。

(3ページへ続く)

(2ページから続く)

また、メンバーに医療関係者が比較的多いのが「はなのね」の特長だそうです。

◇◇◇

「10分間、休憩しましょう!」。開会から1時間、スタッフが呼び掛けました。しかし会話が盛り上がってか、誰も休憩しません。

「誰にも相談できず、1人で悩む人が多い」

「職場に言いにくい人もいる」

「がんに自分になってから、家族が体調を崩した。心配を掛けたせいで、自分を責めた」

どのテーブルも重い体験

談が尽きません。

「(病気を)オープンにするれば、気は楽」

「前を向くことが大事。免疫力も向上するから」

「話し合うなら患者同士が一番」

あっという間に予定の2時間がたちました。

闘病中という女性には話してくれました。「カフェで心を軽くして治療に専念するきっかけになるといい」

話し合っただけかもしれない。しかし、カフェでの時間

間は心を癒やし、心を紡いでいるに違いありません。

## 患者同士なら話し合うなら患者同士に専念し治療に専念

### 参加者

### 「はなのね」がんカフェ

【1】「みんなのはなのね」

方式：グループ対話

日時：毎月第4土曜午後2時から2時間(変更あり)

場所：株式会社「道材」(新潟市西区山田493)

【2】「わたしのはなのね」方式：個別対話

日時：不定期

場所：新潟市中央区上大川前通11番町1877

【問い合わせ】

電話 070(3158)8787

Mai:hananone.nigata@gmail.com

【ウェブサイト】

【ウェブサイト】

検索「新潟はなのね」



こちらからも

## 「はなのね」共同代表に聞く

「はなのね」共同代表の遠藤ゆき子さん(新潟市中央区)に聞きました。

「がんカフェ」をつくった狙いは?

「がん告知されたら、治療のことや

「はなのね」共同代表の遠藤ゆき子さん(新潟市中央区)に聞きました。

「がん告知されたら、治療のことや

### 分かり合える仲間いる

## 参加者の顔生き生き



### 遠藤 ゆき子さん

(新潟市中央区)

「初めて来た人は不安そうなお顔でも、おしゃべりした後には生き生きとした表情で帰って行く。あのような表情を見ると、カフェを運営して良かったと思えます。また、闘病途中で亡くなった、ある高齢男性の奥様からは「夫はカフェに行くことを何より楽しみにしていた」と聞きました」

「呼び掛けたいことはない?」

「がんと闘うのは1人ではない。分かり合える仲間がいる。本人や家族など、がんに関して悩む、すべての人の『がんカフェ』参加をお待ちしています」

ら、家族や仕事のことや心配が尽きず、心労は大きい。治療に専念するために、気持ちをさらけ出して心を軽くする場が必要と思えました」

「話し合われるのは医学的内容ばかりではない?」

「『がんカフェ』は治療の場ではありません。『私の場合はこうだった』などと

「私は20年あまり前に体験しました。病院での患者会にも携わりましたが、患者らが本音をさらけ出すには院外で活動することが大切だと思いました。そう考えた5人をつくったのが『はなのね』です」

「『はなのね』の意味は?」

「文字通り、花の根です。人は誰にも人生の花を咲か

す根がある。だから、がんという、予期せぬ出来事にもへこたれず、人生の花を咲かそうとの意味です」

「カフェのルールは?」

「個人情報には聞かない。病状も話したくなければ話さなくてもいい」

「カフェを運営してみて感じることは?」

「初めに来た人は不安そうなお顔でも、おしゃべりした後には生き生きとした表情で帰って行く。あのような表情を見ると、カフェを運営して良かったと思えます。また、闘病途中で亡くなった、ある高齢男性の奥様からは「夫はカフェに行くことを何より楽しみにしていた」と聞きました」

「呼び掛けたいことはない?」

「がんと闘うのは1人ではない。分かり合える仲間がいる。本人や家族など、がんに関して悩む、すべての人の『がんカフェ』参加をお待ちしています」

いいね!

**福祉のしごと情報**

**多彩にWeb配信中**

県福祉人材センター

福祉職場への就職を希望する人たちに向け、新潟県福祉人材センターは「ホームページ」「YouTube」「LINE」をフル活用し、多角的に就職情報を発信中です。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い過去2年間の対面式の「福祉就職フェア」が中止されたことを機に、インターネットでの情報発信に尽力しています。一部をご紹介します。

**ホームページ**

福祉人材センター  
ホームページ→

▼HPトップページ

▼ブログ

**県内185の福祉法人紹介**

ホームページ内の「法人紹介」は県内185福祉法人のPRや求人情報を掲載中です。

また、ホームページでは、人材センター職員によるブログ「法人訪問記」が好評です。県内の様々な福祉施設を訪ね、人事担当者や現場の職員さんにインタビュー。施設の雰囲気や働く人たちの声に触れられます。

さらに「資格の取り方」「就職活動の進め方」などのコンテンツも充実させています。

**福祉のしごと就職フェア** **新潟会場 朱鷺メッセに戻る**



3年ぶりに大規模会場の朱鷺メッセで開かれた「福祉のしごと就職フェアin新潟」

**3年ぶり 感染留意、100人来場**

福祉関係の求職者と求人事業所が直接対面する「福祉のしごと就職フェアin新潟（県福祉人材センター主催）」が5月14日、新潟市中央区の朱鷺メッセで開かれました。新型コロナウイルス感染症拡大により、中止が続いた就職フェアのうち「in新潟」は3年ぶりに大規模会場での開催となりました。

感染対策に十分、留意した会場には求人側として県内各地から64の福祉関係法人などがブースを構えました。求職者は来春、卒業を予定する大学生や就職希望者ら約100人が詰め掛けました。求職者らは「対面だと質問しやすい」などと話しながら、関心のあるブースに寄り、仕事内容や職場の雰囲気などを職員から説明を受けていました。

**福祉就職フェア**  
**6月4日長岡**  
**上越18日開催**

「福祉のしごと就職フェア」は今春、6月4日に長岡市のハイブ長岡で、18日には上越市の市民プラザでも開かれます。

開催は長岡会場が午後1時30分、上越会場が午後2時です。いずれも開催時間は2時間です。両会場とも地元の福祉関係法人などがブースを構え、求職者の質問に答えます。

問い合わせは、県社会福祉協議会の中にある県福祉人材センターへ、電話025（281）5523。



業務で相談を受ける際に、難しさを感じることはありません。相談を受ける側は「相談者は何かしらの問題や悩みを抱えている」という前提に立つので、どうしても「解決策」を伝えなければ、と思う

## 相談事を聞く

のです。それで「こうしたら？」「ああしたら？」と投げ掛けてみるのですが、時として相談者に「はまっていない」ことがあります。

表面上、相談者からは「分かりました」「やってみます」といった返答があるのですが、明らかに納得していない様子なのです。

これに関して、あるエピソード

## 心の声の見極め大切



ソードを思い出しました。

頭が痛いという訴えに対して「薬を飲んだら」と答えたら、怒られてしまったという話です。薬を飲むという「解決策」を示したのは、相手を気遣ったことですが、相手側は「薬を飲めばよいことは、百も承知。求めているのは、いたわりや優しい言葉掛け」だったという事例です。

冒頭の話も、これと似たところがあります。解決策は間違っていないけれど、相談者にとっての正解やベストアンサーではない。

相談者の「どうしたらいいか」の言葉は必ずしも「解決方法を教えて」という意味ではなく「抱えきれない不安や葛藤の行き場を

どうしようか」という心の声でもある。このことを忘れてはいけません。

(実央)

緊急小口資金

総合支援資金(初回)

緊急小口資金等特例貸付

## 8月末まで受付期間延長

新潟県社会福祉協議会は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯へ、市区町村社会福祉協議会を窓口「緊急小口資金等特例貸付」を実施しています。この緊急小口資金等特例貸付の受付期間が延長されました。

一時的な資金を貸し付ける「緊急小口資金」と、生活の立て直しを支える「総合支援資金(初回)」の受け付けは令和4年8月末までとなりました。

新型コロナウイルス感染症ははまだ県民生活に大きな影響を与えています。生活上のお困り事を含め、貸し付けのご希望については、お住まいの市区町村の社会福祉協議会へご相談ください。

令和4年度

ホームページでも内容を紹介しています  
https://www.fukushihoken.co.jp

# 全社協 保育所・認定こども園の損害補償

スケールメリットを活かした充実した補償と割安な保険料です。



◆ 加入対象は社会福祉法人等が運営する認可保育所、認定こども園

## セットプラン

賠償事故に対応	基本セットプラン		天災セットプラン		園児の傷害事故に対応	基本セットプラン		天災セットプラン	
	身体賠償 (1名・1事故)	1億円・7億円	2億円・10億円	死亡保険金		121.2万円	108万円		
財物賠償 (1事故)	1,000万円	1,000万円	後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4%~100%					
受託・管理財物賠償 (期間中)	200万円	200万円	入院保険金 (1日あたり)	1,700円	1,500円				
うち現金支払限度額 (期間中)	20万円	20万円	手術保険金	入院中の手術:入院保険金日額の10倍 外来の手術:入院保険金日額の5倍					
人格権侵害 (期間中)	1,000万円	1,000万円	通院保険金 (1日あたり)	1,100円	1,000円				
事故対応特別費用 (期間中)	500万円	500万円	天災補償	なし	あり				
被害者対応費用	1名につき 1事故	5万円限度 10万円限度							

## 個別プラン

### プラン1 保育所業務の補償

#### ① 基本補償

- オプション1 ● 地域子育て支援拠点事業等補償
- オプション2 ● 施設の借用不動産賠償事故補償
- オプション3 ● 看護職の賠償責任補償
- オプション4 ● クレーム対応サポート補償

#### NEW

#### ● オプション5 施設の感染症対応費用補償

休業補償から各種対応費用までワイドな安心

- ① 休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
- ② 消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用などの費用を幅広く補償
- ③ 感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

#### ② 個人情報漏えい対応補償

#### ③ 保育所の什器・備品損害補償

新型コロナウイルスを含む特定感染症に対し、新たなオプションが追加されました



#### プラン2 保育所利用者の補償

- ① 園児の傷害事故補償
- ② 来園者の傷害事故補償
- ③ 園児送迎車搭乗中の傷害事故補償

#### プラン3 職員等の補償

- ① 職員の労災上乗せ補償
- ② 役職員の傷害事故補償
- ③ 役職員の感染症罹患事故補償
- ④ 雇用慣行賠償補償

#### プラン4 法人役員等の補償

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約（賠償責任保険、サイバー保険、学校契約団体傷害保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険）です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「保育所・認定こども園の損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

（引受幹事）損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
（保険会社）  
TEL：03(3349)5137

受付時間：平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL：03(3581)4667

受付時間：平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJT1-12225 から抜粋)

# 令和4年度 県民介護知識・技術習得講座

新潟県社会福祉協議会にある県介護実習・普及センターは、県の委託を受け、令和4年度「県民介護知識・技術習得講座」を6月から開催します。高校生以上の県民が対象で、定員は各コース先着15人ほどで、参加は無料です。家庭で介護が必要になりそうな方や、介護の仕事に興味がある方の参加をお待ちします。

各コースとも午前10時～12時、午後は1時～4時で、昼休み1時間です。

実技は、できるだけ濃厚接触しない方法で行います。

## 介護体験・入門コース (1日5時間)

※講座名の先頭にあるamは午前の、pmは午後の講座を指します。

### 新潟会場 (新潟ユニゾンプラザ) =計11回

<b>A</b> コース (計2回)	・6月14日 ・10月7日	am-講義「介護のための基礎知識」 pm-講義「地域住民による助け合い活動」
<b>B</b> コース (計2回)	・6月17日 ・10月13日	am-講義「高齢者・障がい者の理解」 pm-体験「家庭における緊急時の対応」
<b>C</b> コース (計2回)	・8月23日 ・9月14日	am-実技「負担の少ない寝返り介助の方法」 pm-実技「車いすへの安全な介助の方法」
<b>D</b> コース (計2回)	・8月24日 ・9月15日	am-実技「家庭で活かす寝たまま衣類の着脱介助」 pm-実技「自立に向けた排泄介助」
<b>E</b> コース (計3回)	・9月30日 ・11月27日 ・1月25日	am-講義「認知症の理解」 pm-演習「認知症の方への対応」

### 上越会場 (上越市民プラザ)

<b>C</b> コース	・7月5日	am-実技「負担の少ない寝返り介助の方法」 pm-実技「車いすへの安全な介助の方法」
<b>D</b> コース	・7月6日	am-実技「家庭で活かす寝たまま衣類の着脱介助」 pm-実技「自立に向けた排泄介助」
<b>E</b> コース	・7月15日	am-講義「認知症の理解」 pm-演習「認知症の方への対応」

### 長岡会場 (ハイブ長岡)

<b>E</b> コース	・8月9日	am-講義「認知症の理解」 pm-演習「認知症の方への対応」
-----------------	-------	-----------------------------------

## 介護技術・基本コース

全3日間(1日5時間)

実技「在宅介護の基本介護技術の習得」

### 新潟会場 (新潟ユニゾンプラザ)

コース名	1日目	2日目	3日目
6月コース▶	22日(水)	23日(木)	28日(火)
10月コース▶	18日(火)	19日(水)	26日(水)
12月コース▶	8日(木)	9日(金)	13日(火)

### 長岡会場 (ハイブ長岡)

コース名	1日目	2日目	3日目
7月コース▶	27日(水)	28日(木)	29日(金)

## 介護技術・ステップアップコース

全2日間(1日5時間)

実技「介護技術・基本コースの既修者向け～応用的な介護技術」

### 新潟会場 (新潟ユニゾンプラザ)

コース名	1日目	2日目
11月コース▶	16日(水)	17日(木)

### 長岡会場 (ハイブ長岡)

コース名	1日目	2日目
9月コース▶	1日(木)	2日(金)

お問い合わせ、お申し込み先

新潟県社会福祉協議会「介護実習・普及センター」  
〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3階

電話 025(281)5525 (電話は土曜、祝祭日を除く)

メール kaigo@fukushiniigata.or.jp

※既に定員に達した場合はご容赦ください。



# 抗ウイルス光触媒コート

## 研修・会議室なども施工

### さらに安心安全な施設へ

新潟ユニゾンプラザ（新潟市中央区上所2）は抗ウイルスや抗菌、消臭に効果のある「光触媒コーティング



光触媒コーティングを施工したことを示すステッカー（上）と、ステッカーが貼られたエレベーター乗降口（右）



「グ」を今春、エレベーターの室内や乗り場、研修室や大会議室などにも施工。安全安心な施設として県民の皆様からご利用いただけるようになりました。

今冬の多目的ホールへの施工に続く第2期工事は今年3月、酸化チタンを使用したコーティング剤を4・5階の施設を中心に噴き付けました。施工した箇所は4階の大研修室や大会議室、小研修室、5階の特別会議



ユニゾンプラザ4・5階の会議室や研修室の備品に噴き付けられる光触媒コーティング剤（上、下とも）

室などの椅子やテーブル、入り口ドアなどです。さらに、エレベーター室内のボタンや手すり、1～5階の乗降口のボタンにも施工しました。施工箇所のうち、来館者の多くが触れる部分には「光触媒で対策をしています」などと記されたステッカーを貼り、安心安全をアピールしています。光触媒コーティングは酸化チタンを使用。ドアノブなどに塗布されて、できた薄い膜が光を受けると除菌・消臭の効果を発揮しま

す。人体には無害とされ、各地の公共交通機関や病院、学校、オフィスなどで導入されています。

ユニゾンプラザでの施工の前後に、清潔度測定を実施したところ、除菌が際だって進み、清潔度が向上したことが分かりました。

コーティングの持続期間は3～5年とされ、効果を持続させるには改めての噴き付けが必要です。

新潟ユニゾンプラザは、感染禍でもリモートの集みや会議が快適にできるよう、インターネット環境の改善やカメラなど設備の充実に努めてきました。さらに、来館の際も「安心安全な施設」として利用いただけるよう、一連の光触媒コーティングを実施しました。

県民の皆様のご利用をお待ちしています。

ご利用のお問い合わせ先は新潟ユニゾンプラザ管理室、電話025（281）5511。



# 赤い羽根 情報

## 商品1本購入1円寄付 ウオロクで募金百貨店

7月3日まで

「募金百貨店プロジェクト」

第1弾が5月9日から7月3日までスーパーのウオロク各店舗で実施されています。実施を前にした4月12日、プロジェクト実施計画の発表式が新潟市中央区内で行われました。

このプロジェクトはウオロク各店舗で、サントリーの対象商



プロジェクト実施計画を発表した本多伸一ウオロクHD社長（左から2人目）と、小田敏三県共同募金会長（同3人目）

品を購入すると、1本当たり1円が共同募金に寄付される仕組みです。

株式会社ウオロクホールディングスの本多伸一社長は、プロジェクトの実施計画書を小田敏

## ポスト・コロナの 福祉活動を応援

### 助成希望団体募る

### 県共募

新潟県共同募金会は「赤い羽根 ポスト・コロナ（新型コロナウイルス）社会に向けた福祉活動応援

三県共同募金会長に手渡しし「地域社会の福祉の向上に、より一層寄与したい」とあいさつしました。

寄せられた募金は従来から行っている地域福祉活動への助成に加え、新型コロナウイルスの影響により困難を抱える人たちに支援する活動にも活用される予定です。

キャンペーンもつながら続ける地域・社会をめざして「を本年度、実施します。

キャンペーンは県社会福祉協議会の協力を受け、地域に密着した多様な生活支援活動をきめ細かく応援するための募金を実施。併せて、助成を希望する民間団体などを募ります。

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、経済「ポスト・コロナ福祉活動応援キャンペーン」寄付金の振込先は上記の通りです。

的に困窮する人や社会的に孤立する人の増加や固定化が大きな社会課題となり、これまでも同様のキャンペーンを実施してきました。

新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見通せない中、支援継続を求める声が根強くあることを受け、キャンペーンを本年度も実施することにしました。

キャンペーンなど、詳しくは当会ホームページをご覧ください。

### 福島県沖地震で県共募

## 義援金を募集

3月16日深夜に発生した「福島県沖地震」により、甚大な被害を受けた宮城、福島両県の被災者を支援するため、新潟県共同募金会は災害義援金を募集しています。

ご協力をお願いします。義援金受付口座は左の通りです。

- ▽第四北越銀行白山支店 普16600049
- ▽大光銀行新潟支店 普3043002
- 座名義は社会福祉法人 新潟県共同募金会

金融機関	口座番号	口座名義
第四北越銀行 白山支店	(普)1579383	(福)新潟県 共同募金会
ゆうちょ銀行	00630-5-14477	

※ゆうちょ銀行からお振り込みの際は通信欄に「福祉活動応援キャンペーン」とご記入ください。

## No.57 福祉の現場

—福祉の現場で働く人たちに  
思いを聞きました—



寺尾 知香子さん  
NPO法人  
自立支援ネットにいがた  
理事長  
(旧ホームレス  
支援ネットにいがた)

〒951-8063  
新潟市中央区古町通13番町5153-26  
Tel・Fax 025(225)1078  
E-mail: info@sien-niigata.org  
URL: <http://www.sien-niigata.org/>

連絡先



ホームレス支援へ開設されたシェアハウス「まちかど館第一」

名刺の「自立支援ネットにいがた」の脇に、小さく(旧ホームレス支援ネットにいがた)と書かれています

# ホームレス支援が原点

す。「団体名を変更したのですが、旧名は私の活動の原点。無くせません」

活動に携わり約20年。ホームレス支援から始まった活動は幅を広げました。「現在は住まいに困る人へ住居を提供し、生活再建を手伝います。ほかに多重債務処理や就労、健康問題なども手掛けます」ホームレス支援を始めたきっかけは2000年、J

R新潟駅の通路の段ボールハウスに寝泊まりする人たちを見たことでした。炊き出しを手伝いながら、ホームレスと話すようになり、就労意欲のある人が少なくないことを知りました。彼らの職探し活動を始めようと、2004年1月「ホームレス支援ネットにいがた」を設立しました。

「法人設立記念のシンポジウムを開き、招いた講師が訴えたのは『職探しより、まず住む場所』でした。それで、シェアハウスの開設に取り組みました」

同じ年の秋、新潟市中央区本町14、古くからの家屋が建ち並ぶ下町地区の空き家を借り、入居7室の「まちかど館」を計画したところ、地元から「治安が悪くなる」などと猛反対。「地元説明会を重ねて理解を求め、2004年12月にオープンしました」。反



自立支援を受ける人たちとボランティアによる干し柿づくり

対理由に挙げがった治安悪化はありませんでした。

一方で「まちかど館」側は町内の資源ごみ回収場所として敷地の一角を提供。さらに、入居者の人手を見

込まれ、家庭ゴミ収集場所の管理を自治会から任せられるなど、地域との信頼関係を築いていきました。その後、同じ下町の古町通13に「まちかど館第二」(5室)を開設。2棟ともシェアハウス方式で、食事は入居者各自で作ります。2棟の賃借料は入居者から

の家賃で賄います。「入居者たちは20代〜70代の男性だけ。就労している人や、年金や生活保護など、それぞれ何らかの収入がある人たちです」

単なるシェアハウスにとどまらず、入居者の仲間づくりとして近況報告会などのイベントを開催。さらに、就労意欲を高めてもらうようと、野菜類の栽培のほか、乾燥野菜と果物の製造・販売にも取り組んでいます。目指す「自立」とは？

「困窮しても相談すべき窓口も知らず、なすすべのない人たちがいる。だから、自分の意思を伝え、必要な支援を受けられるようになることを目指します」

まちかど館入居者総数はおよそ150人。アパートに移った後も毎日のように電話で近況報告してくる人もいるそうです。

「支援のつもりが支援されている。私が元気をもらい、笑顔になっていくから」。高らかに笑いました。



新潟ユニゾンプラザの2階にある「図書情報ルーム」(愛称・ユニゾンの図書館)がお薦めする、今月の本を紹介します。



### 人知れぬ汗と涙と

初めに「ケアマネジャー はらはら日記」(岸山真理子著)。

出版・三五館シンシヤのベストセラー「日記」シリーズの1冊。47歳でケアマネジャー(ケアマネII介護支援専門員)となり、68歳(出版時)も現役という福祉最前線奮闘記だ。

介護を必要とする人が介  
護保険サービスを受けられ

るよう、プラン作成や介護事業者との調整を行うケアマネ。事情も要望も千差万別の要支援者に接するケアマネの日々はまるでドタバタ騒動のよう。

それらを「ケアマネの雑多すぎる日常」「『老い』と『死』の最前線」「人間関係はいつもヤツカイだ」などの4章、計36のエピソードとして紹介している。

時に罵倒に耐え、時に無理難題に頭を悩ます。要支援者が必要な介護保険サービスを滞りなく受けられる背景には、こうしたケアマネさんたちの人知れぬ汗と涙の物語があったことを知らされた。

### 老後の居場所最重要

続いて「60歳からの教科書 お金・家族・死のルール」(藤原和博著)。60歳から84歳までの自由時間は8万時間を優に超え、それまで40年間働いてきた時間に匹敵するという。それをどう使うか。例えば、どん

な分野でも1万時間を費やせば、100人に1人の「希少」な存在になれるとして、自身の希少性を高める生き方を勧める。

さらに「会社を離れた後の居場所となるコミュニティの確保」が老後の人生の死活問題だと強調。「人生の後半戦の豊かさは『コミュニティ』の豊かさで決まる」とも。

老後の社会との接点の大



切さは、頭では分かっている、という人も多いのでは。これまで150冊を書いたという著者の知見をフル活用し「気軽に有意義なコミュニティの選び方・入り方」にも踏み込んでほしかった。

「意見」感想  
お寄せください  
◆〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-2  
◆新潟ユニゾンプラザ3階 新潟県社会福祉協議会企画広報課  
◆ファクス 025-281-5528  
◆Eメール kkkaku@fukushinigate.or.jp

### パレット新潟店営業日

2022年		7月					
日	月	火	水	木	金	土	
					1	2	
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							

2022年		6月					
日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30			

営業時間 11:30~16:30 □…は休業日

福祉の店  
パレット情報

### 編集後記

がんの治療成績は昔と比べ向上しているとはいえ、がんはやはり怖い。過去2回、人間ドックでがんを疑われた。幸いにも再検査で事なきを得たが、その間は不安で、やはり、しんどかった。

もし、がんと診断されたら、治療については主治医の方針を是非も無く、受け入れただろう。では、心の不安はどうしたか。心の持ち様が治療に好影響を与えるともいわれる。治療と心のケアは闘病の際の、まさに両輪なのかもしれない。

闘病時の心のケアはもっと注目されるべきだ。不安や悩みは聞いてもらうだけで和らぐという。病院で治療し「がんカフェ」で不安を吐露する。がんに限らず、さまざまな病気と闘う患者も不安を抱えているだろう。患者の心を軽くできるカフェなどの場が増えてほしい。(佐)

この機関誌は、  
赤い羽根共同募金の  
助成を受け発行しています。



発行所/社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会  
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ  
☎ 025-281-5584  
発行人/関原 貢  
定 価/5円 (会員の購読料は会費に含む)

福祉にいがた  
令和4年6月1日発行 (毎月1日発行)  
印刷/島津印刷株